

## 社長メッセージ

# Top Message

株式会社日立ソリューションズ  
代表取締役 取締役社長

森田 英嗣

Hideji Morita

1985年日立製作所入社。製造・流通業向けのシステム開発のSE、その後マネジメントとして従事。2016年、当社の執行役員に就任し、2019年にはHitachi Solutions America, Ltd. のChairman兼CEOとして米国に赴任。グローバル事業のポートフォリオ変革などに携わる。2023年に帰国し、国内外の経営戦略とSXを掌管。2025年4月に、代表取締役 取締役社長に就任した。趣味は旅行と街歩き、スキー、読書。

## SXは新たなフェーズへ。 AI時代の「安全・安心」な社会を 次世代、その先の人たちに送るために

2021年度にスタートした当社のSX活動は、2025年度から「実践・定着フェーズ」へと移行しつつあります。これまでの数年間に、コーポレートフィロソフィー、マテリアリティの策定など、SX推進の基盤づくりを進める一方、若手従業員を中心とした議論やワークショップを重ね、当社が社会に対して果たすべき役割や、持続可能な未来への貢献のあり方を見つけてきました。今後は、それらを事業や企業活動の中に本格的に組み込み、具体的な成果として社会に示していく段階に入っています。そのために重視しているのが、従業員一人ひとりがSXを「自分ごと」として実践することです。若手従業員を中心とする価値創造モデルの策定やサステナビリティ・コミットメントでの議論を通じて、社会課題と事業活動との接点がより明確になり、現場からも主体的な取り組みが数多く生まれています。例えば、建設・都市向けDXやセキュリティ、スマートモビリティなどの事業における、社会課題解決と事業成長を両立させようとする動きなどです。新入社員からSXへの貢献について質問を受けた際には、こうした活動が世代を超えて着実に浸透していることを実感し、大変心強く感じました。一方、AIの急速な進化は、社会や産業構造に大きな変化をもたらしています。当社は「DX by AX toward SX」というスローガンのもと、AIを起点にDXを加速し、その先に持続可能な

社会の実現をめざしています。日立グループにおけるAI活用のフロントランナーとして自らAIを徹底活用し、カスタマーゼロで検証した成果や知見を、お客さまやグループに展開していきます。

2025年度に実施したAI活用のアイデアや事例を競うコンテストでは、従業員から約1,800件の応募が寄せられました。当初は構想段階の提案が多く見られましたが、短期間で実運用レベルの取り組みへと発展し、AIエージェント化まで進んだ事例も生まれ、従業員の実践力と挑戦意欲の高まりに、大きな可能性を感じました。一方で、AIには新たなリスクも伴います。当社はサイバーレジリエンス強化やAI倫理にも注力し、AI-Readyな社会を安全・安心に支えるソリューション提供を進めていきます。

最後に、SXを支える最大の原動力は「人財」です。当社では、従業員の挑戦を後押しする制度や、多様なパートナーとの協創を通じて、新たな価値創造を加速させています。地政学リスクや気候変動など社会の不確実性が高まる今だからこそ、ITの力で誰もが安心して暮らせる社会を実現したい。その想いを胸に、従業員一人ひとりの挑戦と協創を力に変え、持続可能な未来へ貢献してまいります。



詳しくはこちら